

# なんと未来ミーティング<高校生コース>

南砺の未来をつくるビジョンワーク

## 実施報告書

令和5年2月8日

株式会社人づくり・学び舎 作成

## 1. 事業概要

### (1) 背景

南砺市における人口減少は、南砺市が直面する大きな社会課題の一つであり、対策は待ったなしといえる状況である。人口統計等のデータから、転出による人口減少が大きく、若者流出がひとつの要因として読み取ることができる。高校を卒業後、市外・県外へ出た後に、地元へ戻らない若者が多いという現状が浮き彫りになる中で、若者が考える「理想の地域像」を理解することが、南砺市政・施策立案には欠かせないため、本事業を実施する。

### (2) 目的

市外・市内への社会移動を分析することは容易ではないが、若者のライフステージ（進学・就職・結婚・子育て等）に合わせて、必要な施策を行うことで転出を抑制するきっかけを得ることができると考えた。人口増をねらう様々な施策（Uターン、Iターン、Jターン）の中でも、特に、地元の魅力を再認識できることは、Uターンへの動機づけとなり得る。本事業を通じてみえてくる若者の意識や行動を分析し、若者から「魅力あるまち」と認識され、「住みたくなるまちづくり」の推進のためのヒントを得ることを目的とする。

## 2. 実施概要

富山県立南砺福野高校（福祉科3年）の協力を得て、授業「未来をつくるビジョンワーク」の実施。

高校生の率直な意見を聴くために、「自分ごと」として自分自身の将来を考えるワークショップ形式をとり、①個人で考える場面、②グループで話をする場面、③全体に共有する場面を設け、意見交換を通じて様々な知識や価値観を学びあう時間を目指した。

市民＝南砺市に住む人とは、南砺市に住むことを選んだ人である。住む場所を選ぶ行為は、個人的な理由が大きいと想定されるため、あえて意見を集約することはせず、個別の意見の収集をすることで、高校生の意識を映し出すことを大切にしたい。

意見の収集は、以下の3点より行った。

- A) 個人ワーク時に使用したワークシート
- B) グループディスカッション時に使用した模造紙
- C) 授業終了時アンケート

日時：2月8日（水）9～11時

場所：富山県立南砺福野高校 総合福祉実習室

参加者：福祉科3年（27人/29人） 男性：4人 ・女性：23人

南砺市内在住：4人 / 市外在住：23人【砺波13人、小矢部5人、その他（呉西地区）5人】

◎事前ヒアリング ・進学：20人【県内6人、県外14人（うち8人は石川県）】

・就職：9人【介護福祉系：7人、一般企業：2人】

## (1) 当日の流れ

1. オリエンテーション(※1)
2. 個人ワーク:「自分の将来をイメージする」(※2)
3. グループワーク:「住む場所を選ぶ」(※3)
4. グループ発表:班ごとに発表(※4)
5. 個人作業(アンケート)(※5)

※1. 高校生の率直な意見を聴くための工夫として、使用するスライドや言葉の使い方等を高校生向けにアレンジした。冒頭のオリエンテーションで将来像をイメージしやすくなるような投げかけを行い、グループワークへと自然とつなげるように工夫した。

※2. 個人ワークでは、10代～60代までの自分自身のライフステージの変化を考えるためのチェックリスト(個人ワーク)を使用し、年代ごとにどのような意識変化が起きるかを考察できるようにした。

※3. 上記を踏まえて、話し合いを通じて「ライフステージの変化によって意識変容が起き、またそれに伴って行動変容が起きる」ことを疑似体験してもらった。それらを班ごとに準備した模造紙を使用し、全員の意見を可視化しながら、グループワークを深めてもらえるよう工夫した。

※4. 各班とも、班員全員で発表を行った。各班で出た意見は、クラス全体で共有することで、様々な選択における価値観の違いに対する理解(多様性)を深めることができた。また、自己理解を深め、多様な視点から地域のもつ価値を再発見することができた。これらを通じて、今後、どのような観点で「住む場所」を選ぶ必要があるか、という新たな視点を得ることができた。

※5. 最後に授業全体を通じて、気付いたことや感じたことを知るために個人アンケートを実施した。



グループワークの様子



全体発表

【(特記事項) 今回の未来ミーティング(高校生)における注釈】

- ・福祉科という特質上、一般的に多くの高校生よりも行政の仕組みやサービスについて、非常に詳しく理解している。そのため、行政サービスを利用したいという意思が明確である。
- ・国家資格を取得し、就職するという前提で学んでいる学生が多く、「就職」に有利になるようにと、「手に職をもつ」感覚にも、有意差がある。
- ・高校生にとって、「将来、自分自身が行う住む場所の選択」について考えることは、現段階においての予想でしかなく、これが現実起きるかどうかという観点で見ることができない。
- ・今回ワークやアンケートで出された意見は、高校生がみている「社会の姿」であり、それらは家族や地域の身近な大人の姿が投影されていると考えることができる。
- ・また、高校生の視点で「どのような暮らし方を望んでいるのか」、また「地域の良さ」や「課題」などが、若者がまちへ戻る(戻らない)ヒントとなり得ると想定している。

(2) 個人ワークの集計結果 「自分の将来をイメージする」

		10代	20代	30代	40代	50代	60代
住む	1位	環境	買い物	サポート	子育て・介護	サポート	サポート
	2位	人	環境	子育て・介護	サポート	子育て・介護	環境
	3位	買い物	人	買い物	環境/買い物	環境	買い物
働く	1位	労働条件	給料	労働条件	労働条件	給与	労働条件
	2位	給料	労働条件	給与	給与	労働条件	好き
	3位	家から近い	スキル/やりがい	やりがい	スキル/やりがい/好き	好き	給料/家から近い
活動	1位	環境	環境	環境	環境	環境	環境
	2位	情報	人とのつながり	人とのつながり	人とのつながり	人とのつながり	人とのつながり
	3位	人とのつながり	情報	情報	情報	情報	情報

年代ごとに見ると、ライフステージ(進学・就職・結婚・出産・子育て)を意識していることを見てとることができる。(自分の兄弟、両親や祖父母など、身近な人をイメージして考えられているものと予想)

各年代の上位2位 ここから読み取れる「意識」

- ① 10代は、環境・人(家族や友人)など、外部環境の影響を受けやすい
- ② 20代だけ、買物が1位になっている(自分のための時間やお金)
- ③ 30代~40代 子育て世代、50代 介護世代 ←20代~30代にかけて結婚をイメージしているのか?
- ④ 子育て期や介護期にはサポート(親・行政・医療)が必要と考えている
- ⑤ 活動においては、どの世代においても、活動に必要な「環境」と、「人とのつながり」が上位となっている

各年代の上位3位までひろげ、ここから読み取れる意識

- ① 各年代とも「買い物」が入っており、生活に必要なものが手軽に購入できることが大切
- ② 環境（自然や設備）の重要度が高いのは、10～20代、50～60代  
⇒結婚・子育て期は、環境よりも具体的なサポートが必要だと感じている

上記の結果より、南砺福野高校福祉科へ通う高校生から見た、地域の魅力として人生のターニングポイントにおいて様々な「サポートを受けられる」ことや、「人とつながりが感じられる」ことなどが、意見として挙げられた。

これは南砺市の目指す「市民が助け合う温かい地域像」と一致していると考えられる。

→年代ごとに、わかりやすくPRすることが大切（媒体・メディアの工夫）

→実際に「選択をする」前までに情報を適切に届けることが重要である。情報発信のタイミングの検討

### (3) グループワーク 意見 「自分のターニングポイントでの重要ポイントは？」

#### 趣味

- ・共通の趣味がある友達・好きなものを共有できる
- ・自分のやりたいこと・特技にしたいこと
- ・環境が整っている・場所・学ぶ環境の充実
- ・予算におさめる
- ・おしゃれなカフェがあること
- ・時間

#### 進学

- ・通学の仕方・学校への距離（家からの距離）
- ・やりたいことを学べる・用意してくれる環境・学びたいことが学べるか・相談制度
- ・技術力がちゃんと学べる・資格取得できる・専門性

#### 就職

- ・給料がよい・自立できる
- ・休日が多い・福利厚生がある・続けられるか
- ・好きなことができる・やりたいことができる
- ・人間関係が良好
- ・やりがいがある
- ・通勤距離（自宅から近い）
- ・能力を活かせる・スキルを活かせる・資格を活かせる
- ・常に学び続けられる・人間性の向上・新しいことにチャレンジしたい・社会について学ぶ
- ・人との出会い

## 結婚

- ・父親も一緒に子育てしてくれる ・家事の役割分担
- ・モラルのある ・暴力ふらない (DVしない) ・思いやりのある人
- ・価値観の差が少ない ・価値観の合う人
- ・周りのとの関係環境 ・周囲の人の理解と協力 ・新しい暮らしを始めやすい環境
- ・安定した生活 ・収入 (ふたり)

## 子育て

- ・保育園/幼稚園がある、近い ・放課後に預かり場所があること ・託児施設の充実
- ・病院が近い
- ・バリアフリー
- ・男性の育児参加
- ・遊び場所に困らない ・こども同士で安心して遊べる公園・施設・サービスなどある事
- ・子供の周りの環境 (友達・自然)
- ・子の教育
- ・人間関係 ・困ったときに周りが助けてくれる
- ・支援が充実している ・子育て支援の内容・種類 ・子育てに関する支援を受けやすいか
- ・児童委員 ・虐待防止 (見まわり、見守り)
- ・相談機関が整っている ・一人親への支援 ・こども食堂
- ・補助金など (国や行政) 助けてくれる ・金銭的支援
- ・子育てしたくない (こどもいない)

## 地域

- ・人間関係 ・住民が仲良し ・近隣住民との関わりがもてる
- ・協力 (困ったときにすぐ助けてくれる) ・近所の人との関わり (非常時におけるの協力)
- ・公共交通機関が充実している 市営バス大事
- ・お祭りがある ・伝統行事を大切にしている
- ・行事が盛ん ・行事やボランティアなどに参加できる
- ・民生委員などによる見守りをする事で、一人暮らしの高齢者が安心、離れて暮らす家族も安心
- ・空き家がない (ゴミ屋敷も)

## 介護

- ・人が優しい (地域) ・民生委員
- ・ヤングケアラーへの支援
- ・病院に近い
- ・施設が充実している ・バリアフリー
- ・必要物品の買いやすさ
- ・相談しやすい (本人・家族) ・相談機関が整っている

- ・自治体の福祉サービスの充実 ・利用者のニーズを尊重できる環境 ・サービスが充実している
- ・在宅 ・最期は家族で看取れる環境がある ・住み慣れた地域で暮らし続ける ・親の(本人)意見
- ・家族への支援 ・支援の受けやすさ(自分時間がもてる)
- ・同じ立場の人がいる ・助け合い

#### (4) アンケート集計結果・分析(別紙あり)

##### 《設問》

- ① 自分は将来、どんな場所に暮らしたいと思いますか？
- ② あなたにとって、「暮らしやすい」または「暮らしにくい」と感じるのはどんなところですか？
  - ・「暮らしやすい」と感じるのはどんなところ
  - ・「暮らしにくい」と感じるのはどんなところ
- ③ 「地域」という言葉に対するイメージはありますか？ それはどんなイメージですか？
  - ・あなたの住んでいる地域の好きなのところはどんなところですか？
  - ・あなたの住んでいる地域の好きじゃないところはどんなところですか？
  - ・もっとこうだったらいいのに…！ ということはあるですか？
- ④ あなたにとって「理想の大人」はどんな人ですか？
  - ・どんな大人になりたいですか？

(注釈) グループワークを実施後にアンケートをおこなっているため、グループの中で出た意見等、同じ文言が複数回出現します。そのため、内容と意見数が必ずしも相関関係があるとはいえず、考慮して見る必要があります。

##### 《回答》一部抜粋

##### ■質問「自分は将来、どんな場所に暮らしたいと思いますか？」

- ・支援が充実していて、安心できるところ
- ・福祉のサービスが充実しているところ
- ・支援が充実していて、近隣の人同士で助け合える場所がいい
- ・地域でいろんな行事やボランティアを行っていて、人との関わりを増やせるところ
- ・隣人が優しくサポートしてくれるところや、買い物する場所が近いところ
- ・人とのつながりが盛んで、気軽に相談することができる環境がある
- ・住み慣れた場所
- ・周辺だけで生活が完結する
- ・自然を感じられる場所
- ・職場に近いところ

- ・住みやすく住環境が整っている場所
- ・交通の便がよいところ

■質問「あなたにとって、暮らしやすいと感じるのはどんなところですか？」

- ・支援が充実している ・支援を受けやすい ・相談しやすいところ
- ・生きていくうえで、必要なサービスが整っていること ・金銭的なサポートが多い
- ・近所付き合いや家族関係も良い ・周りの人が親切 ・地域住民が優しい
- ・安心して暮らせる場所(人間関係、環境) ・隣人と仲が良い
- ・買い物しやすいところ ・日用品の買い出しがしやすい ・買い物したいところへ行ける
- ・近くにスーパーやコンビニがある ・周りに施設やショッピングセンターが充実しているところ
- ・学校や職場に近い
- ・趣味が楽しめて、職場への通勤がしやすいところ
- ・交通の利便性がある ・公共交通機関が充実している
- ・自然を感じた時 ・騒がしくないまち ・静か ・のんびりできるところ
- ・自己決定できるところ
- ・若いころは都会へ行ってたくさん勉強したい ・50~60代になったら地元に戻って暮らしたい
- ・盛んなまち

■質問「あなたにとって、暮らしにくいと感じるのはどんなところですか？」

- ・買い物へ行くのが不便 ・近くにスーパーや駅がない ・買い物などの際に遠出が必要なところ
- ・買い物や楽しめる施設が少ない
- ・病院から遠い
- ・福祉サービスなどが充実していないところ
- ・相談できる場所や支援の内容が何もわからない ・情報発信が少ないところ
- ・人とのつながりが無い ・近所付き合いが悪い ・近所の人間関係がぎすぎすしている ・隣人が怖い
- ・治安が悪い
- ・危険
- ・除雪されていない
- ・交通の便が悪い ・公共交通機関が使いにくい ・移動手段が少ない ・バスや電車が近くに通っていない
- ・学校や職場から遠い
- ・行事が多い
- ・人が多すぎる
- ・うるさい



**■質問 「地域という言葉に対するイメージはありますか？ それはどんなイメージですか？」**

- ・人間関係 ・つながり ・交流 ・行事
- ・近所の人たちと協力するイメージ ・助け合い ・住民との支えあい ・人と人の助け合い
- ・近所や人との関わり、サービス、ボランティア、施設、寄り添う ・あったかい

**■質問 「あなたの住んでいる地域の好きなのところはどんなところですか？」**

- ・人間関係が良好 ・隣の家の人と仲が良い
- ・近所付き合いがある ・地域の人みんな優しい ・除雪を協力してできる
- ・地域の人たち同士のつながりが強い
- ・困ったとき助けてくれる
- ・福祉サービスの充実している
- ・田舎だけど意外に何でもある
- ・まちなみがきれい
- ・水がきれい
- ・お祭りなどがある。お祭りが豪華でかっこいい
- ・除雪された道路がきれい
- ・自然豊か ・自然を感じられるところ
- ・うるさすぎない ・静か
- ・地域に「行事」や、「〇〇教室」が多くあるところ

**■質問 「あなたの住んでいる地域の好きじゃないところはどんなところですか？」**

- ・歩道のない道が多く危険 ・街灯が少ない
- ・車がないと不便
- ・買い物する場所が遠い ・お店やショッピングモールの少なさ ・コンビニが遠い ・学校が遠い
- ・交通の便が良くない ・バスや電車がいない ・電車が1時間に1本しかないところ
- ・人や行事が少ない ・行事がない
- ・行事が多い
- ・同年代の人が少ない

**■質問 「もっとこうだったらいいのに…！ ということはありますか？」**

- ・行事がある ・コロナ禍でもできる限り行事を行う
- ・市バスなど活用しやすいようにしてほしい
- ・市営バスが市内だけ回るのはなく、南砺市だったら、砺波や小矢部にも少し通して、市内外を気軽にまたげるようにしてほしい

- ・高齢者でも楽に買い物へ行けるように移動サービスがあればいいと思う
- ・行事の任意参加
- ・空き家をどうにかする

### ■質問「あなたにとって理想の大人はどんな人ですか？」

- ・人から信頼されている人
- ・責任をもって行動できる人
- ・好きなことも仕事も両立している
- ・やりがいを感じながら仕事をしていて、プライベートも充実している人
- ・自立している人 ・ちゃんと働いていて、家庭を築けている人
- ・自分の行動に責任をもって、どんなことにも文句を言わず自分の役割を果たせる人
- ・優しい人 ・周りに目を配れる人
- ・人のためを思って行動できる人 ・困っている人を助けられる人(声をかける、相談にのることでも)
- ・自分をしっかり持っている人 ・意思をはっきり持っている人
- ・否定から入らない人 ・否定せずにやりたいことをサポートできる人
- ・人の価値観や考えに寄り添って答えられる人
- ・大切なことを教えてくれる人
- ・ダメなことはだめとはっきり叱ることのできる人
- ・相談にのってくれる人
- ・未来を担う子どもたちのために、と動いてくれる人

### ■質問「どんな大人になりたいですか？」

- ・自立した大人
- ・周りに左右されずに自分の意思をしっかり伝えられる人 ・自分をしっかり持っている人
- ・自分に自信のある人
- ・誰からも信頼される人 ・頼りにされたい
- ・人のためになる人 ・人のために動ける人 ・誰にでも進んで手を差し伸べられる人
- ・人が困っていることにすぐに気が付ける人
- ・助けることができる人/助けることに恥ずかしいと思わない人
- ・常に笑顔で人から頼られ、頼ることができる大人になりたい
- ・好きなことを仕事にして、お金を稼げる人 ・仕事ができる人
- ・外見も内面もきれいな人
- ・人の価値観や考えに寄り添って答えられる人 ・人の考えを素直に受け止められる人
- ・誰にでも優しい人
- ・相手を尊重し、自分のことは自分でやりきる大人
- ・夢をあきらめずに追いつけたい

- ・子どもたちに「自分のやりたいことを自分でつぶさないことを伝えたい そう伝えられる人になりたい
- ・自分のやりたいことをつぶさない大人
- ・自分の行動に責任をもち、幸せな毎日だなと思えるような人
- ・謝れる大人

### 3. なんと未来ミーティング《高校生コース》をまちづくりへ活かすために

今回の「なんと未来ミーティング」での意見は、高校生を取り巻く社会制度や周囲の大人たちの姿を見て、未来の自分をイメージしながら、まだ経験していないことを想像できる範囲で記載されたものである。そのため、ここでの意見をそのまま利用することは難しく、そこから見えてきた意識や行動（情報）を市政における様々な事業に置き換え、読み替えて使う必要がある。

一方で、若者たちが、それぞれのライフステージやターニングポイントにおいて重要視している（重要ではないかと考えている）項目に関しては、南砺市においては既に取り組みがなされているものも多くみられる。その取り組みを若者たちへ、必要なタイミングで、有効な手段を用いて伝える工夫や、適切な「情報発信」を行うことで、南砺市の魅力を認知してもらうことは十分可能である。

南砺市の魅力を理解することは人口流出を防ぐ手立ての一助となり得るため、本事業において収集された意見を各方面にて活用することは有効である。

◎富山県立南砺福野高校ホームページ

<https://www.nantofukuno-h.tym.ed.jp/archives/2596>

◎メディア掲載

《新聞》

- ・北日本新聞
- ・富山新聞
- ・読売新聞
- ・北陸中日新聞

《テレビ》

- ・NHK 「住みたくなる街」のアイデア 南砺市の高校生が提案

[https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20230208/3060012565.html?fbclid=IwAR3o6YumKCNjxjYGAYEsFn\\_xsSrI\\_f-bIqhdPI47Xrb-olemtnSANOm-iB0](https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20230208/3060012565.html?fbclid=IwAR3o6YumKCNjxjYGAYEsFn_xsSrI_f-bIqhdPI47Xrb-olemtnSANOm-iB0)

- ・TST なんと未来ミーティング【高校生コース】 2月8日

[http://www.e-tonamino.com/news/news\\_detail.jsp?userid=tshtonami&id=3908](http://www.e-tonamino.com/news/news_detail.jsp?userid=tshtonami&id=3908)